

お客様各位

## 除菌消臭水サニーエースの空間噴霧について

はじめに 新型コロナウイルスに罹患された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。また、医療現場の最前線で日夜尽力されている全ての医療関係者に心より感謝申し上げます。さて、先日、製品評価技術基盤機構(以下 NITE と記載)より報道された次亜塩素酸水を空間噴霧することによる弊社の見解を下記にお示いたします。

### 記

サニーエースは、次亜塩素酸ナトリウムを塩酸と水道水にて希釈混合し pH を 6.5 前後、有効塩素濃度を 200 ppm にて生成した弱酸性次亜塩素酸水溶液です。噴霧につきましては、10 年以上毎年、老人ホームや施設、病院などで、ウィルス対策、匂い対策に使用されており、NITE 報道にあったような目の痛み等の報告は一度もございません。稀に「眼や喉が痛くなった」「気分が悪くなった」といった事を耳にすることはありましたが、弊社が把握している限りでは塩素系漂白剤に使用されている次亜塩素酸ナトリウムを噴霧したことや、pH や生成方法が不明な次亜塩素酸を噴霧したなど、誤った使用のされ方をしたために発生した事例ばかりです。

空間噴霧の安全性については、空気中の塩素濃度に関する労働安全衛生法を根拠に、「1 日 8 時間、週 40 時間、人が暴露されても、人の健康に害はないというものが、0.5ppm となり、その基準を超えないことが必要です。

この基準(0.5ppm)を上回る次亜塩素酸水を 2 時間噴霧した実験においては、超音波噴霧器から 2 メートル離れた地点を測定し、もっとも数値が高かった床面でも「0.02ppm」でした。また、過剰に噴霧した場合でも、「次亜塩素酸濃度が上昇し続けるわけではなく、健康上問題のない濃度でとどまった」ことから、正しい使用方法で噴霧する場合は、人の健康に害はないと認識しております。 ※ 三重大学福崎教授噴霧評価結果抜粋

ただし、今後も噴霧器を安心してお使いいただくために、以下の事を注意事項として追記させていただきます。

- ・原液 1 に対し水道水 3 で希釈し有効塩素濃度を 50 ppm で希釈 (50ppm 以下で使用)
- ・人体、金属部や電子機器に直接噴霧の粒子がかからないところに設置。
- ・他の除菌・消臭剤やスプレー、薬剤と混ざらないようにご使用。
- ・塩素に対するアレルギーを持つ方への配慮。

次亜塩素酸ナトリウムの取り違え・高濃度の次亜塩素酸水を希釈せずそのまま噴霧することによる健康被害を避けるためにも、注意喚起を促すことといたします。

サニーエースにつきまして、ご不明な点がございましたら、その都度お気軽にお問い合わせくださいませ。今後とも何卒よろしく願いいたします。

朝日産業(株)  
以上